

町長あいさつ



新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃より、町行政にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

今年は「大野町合併70周年」、さらには「総合町民センター開館30周年」の節目の年にあたります。この記念すべき年に、これまでの町の歩みを振り返るとともに、さらに大きく飛躍するための契機として開催する様々な記念事業を通して、町民の皆様に誇りや愛着を感じていただけるまちづくりを進めてまいります。

町では、平成25年3月に大野神戸インターチェンジ開設を見据えたまちづくりの基本計画「大野町グランドデザイン」を策定し、町の目指すべき将来像に向けて、道の駅整備などを進めてまいりました。

昨年、道の駅「パレットピアおおの」は、おかげさまで開駅5周年を迎え、来場者200万人を達成することができました。今後、周辺環境の整備に伴い、変化するお客様に対応するため、園芸コーナーや特設売場を充実し、柿やバラなどの特産品を中心とした販売促進を行うとともに、SNSを活用した魅力発信を行うなど、さらに皆様に愛される道の駅を目指して、取り組んでまいります。

そして、大野神戸インターチェンジ周辺のまちづくり整備事業については、待望の「西濃厚生病院」が昨年10月に開院され、町内に高度な医療体制が整い、町民の皆様には、身近で専門的な治療を受けていた

くことが可能となりました。さらに、令和3年9月に岐阜県知事立ち会いのもと、イビデン株式会社と締結した「まちづくり整備事業に係る基本協定」に基づき、令和7年度の工場稼働に向けて整備を進めており、地域経済の活性化や地元雇用の促進につながる施策として、引き続き官民一体となって取り組んでまいります。

大野町グランドデザインも、策定から10年が経過し、社会情勢の変化等に対応し、さらに戦略的・効果的に施策を推進するため、これまでの「観光」「企業誘致」「環境」の3Kに「健康・福祉」「子育て・教育」を新たに加えた5Kを政策の柱とする見直しを行っています。町民の皆様の声を各種政策に反映し、持続可能なまちづくりに繋げてまいりたいと考えております。

結びに、新型コロナウイルス感染症もようやく収束し、日常生活を取り戻しつつあります。この数年間の、町民の皆様への行動制限等へのご協力、並びに医療関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。今後とも町の将来像である「快適で 笑顔あふれるやすらぎのまちおおの」を実現するため、町民の皆様をはじめ、事業者の方々により一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆様のご健康とご多幸を謹んでお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和6年1月 大野町長 宇佐美 晃三



議長あいさつ



新年 あけましておめでとうございます。

令和6年の新春を健やかに迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

また、本町の町政運営ならびに議会活動に対しまして、皆さまのご理解とご協力、そして温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大により自粛をしていた行政視察を4年ぶりに再開し、震災復興からの防災をテーマとして、宮城県石巻市、気仙沼市へ議会議員視察研修に行っていました。視察先では、震災遺構の見学のほか、現地の方による当時の体験談や震災からの復興に関する貴重なお話を自治体職員の方から伺い、現地の実情を自身の目で見、肌で感じ、未曾有の被害をもたらした大震災の恐ろしさを改めて痛感するとともに、日常における我々の危機管理意識の希薄さ、地域防災力の拡充、自助・共助・公助のあり方等を深く考える機会となりました。

我が大野町では、幸いにも大きな災害による人的被害の発生はないものの、昨年8月の台風7号による豪雨被害は記憶に新しく、また、近い将来には、東南海、南海トラフ等の大地震の発生が懸念されています。皆さまの安全・安心な生活に寄与すべく、視察先で学んだ教訓や防災への取組みを町施策へ反映させてまいり

たいと考えております。

さて、今年、大野町合併70周年の節目の年に当たり、様々な事業が計画されています。町の歴史や文化を町民の皆さまに改めて認識していただく機会となるとともに、町の魅力を広く内外に発信し、魅力あふれるまちづくりを進める契機となることを期待しています。

また、平成27年度に策定された第六次総合計画もいよいよ最終年度を迎えます。本町の将来像として掲げる「快適で 笑顔あふれるやすらぎのまち おおの」の実現に向けて展開される諸施策の成果や課題点を精査し、令和7年度からスタートする新たな総合計画へとつながる重要な年となりますので、町民の皆さまの多様なニーズを的確に把握するとともに、二元代表制の一翼を担う機関としての責任を果たすことができるよう、議員一人ひとりの研鑽に努め、町当局とともに議会議員一同、全力で取り組んでまいる所存でございます。

結びに、本年が町民の皆様にとりまして幸多き年となりますことを祈念し、私の新年のごあいさつとさせていただきます。

令和6年1月 大野町議会議長 山川 満

1月は「家庭の日」普及実践強調月間です

～「家庭の日」を通して深めよう家族の絆～

県では、毎月第3日曜日を「家庭の日」として、明るく温かい家庭づくりを推進しています。この活動を一層推進するため、新しい年の出発にあたる1月を「家庭の日」普及実践強調月間として、普及実践を図っています。

◎強調月間の目標

「自立した青少年を育む心豊かで明るい家庭づくり」
「青少年と築く、開かれた地域づくり」

- ・家族そろって食事をし、団らんのひとときをもちましょ。
- ・家族みんなで力を合わせて家の仕事や作業をましょ。
- ・家族みんなで地域の行事や活動に参加ましょ。

町青少年育成町民会議では「家庭の日」の普及実践を進めるため、小中学生の皆さんに対して図画・ポスターおよび作文を募集し、優れた作品に賞を授与したり、展示会を開いたり、作文集にして各小中学校他に配付したりしています。

◎展示会開催予定

期間 1月5日(金)～21日(日)

場所 総合町民センター 1階 ふれあいギャラリー

内容 県「家庭の日」啓発図画・ポスター出品42作品

中学生の部(ポスター)入賞作品



「私の家族」

揖東中3年 下野明日香さん



「大切な家族」

大野中2年 所 優那さん